

令和6年度 学校評価について

宮城県加美農業高等学校 学校評価委員会

1 学校評価の実施

(1) 調査対象

対 象		実 施 期 間	人 数	備 考
1	教 育 職 員	令和6年11月11日～22日	51名	教育職員のみ
2	全 教 職 員	令和6年11月11日～22日	65名	非常勤を除く職員
3	生 徒	令和6年11月 1日～22日	139名	
4	保 護 者	令和6年11月 1日～22日	139名	
5	外部学校関係者	令和6年11月 1日～22日	16名	学校運営協議会・近隣区長等

(2) 回収状況

対 象		令和5年度	令和4年度
1	教 員	82.4% (42/51)	106.3% (R4: 85.4%)
2	教 職 員	86.2% (56/65)	77.8% (R4: 100%)
3	生 徒	80.6% (112/139)	88.1% (R4: 76.3%)
4	保 護 者	80.6% (112/139)	70.1% (R4: 73.8%)
5	外部学校関係者	62.5% (10/16)	57.9% (R4: 75.0%)

(3) 調査方法

Webアンケート (Google フォーム) 及び質問紙法

2 調査結果

- (1) 自己点検・自己評価 (教員・教職員) : 資料A (教育職員)、資料B (全教職員)
- (2) 学校関係者評価 (生徒) : 資料C (生徒)
- (3) 学校関係者評価 (保護者) : 資料D (保護者)
- (4) 学校関係者評価 (外部学校関係者) : 資料E (外部学校関係者)

3 ま と め

調査方法はWebアンケート方式及び質問紙法により実施し、調査対象及び回収状況は上記のとおりである。

教育職員の結果は、11項目中10項目で肯定的評価が80%を超えているが、「校内研修・授業公開の有効活用」については、68.3% (昨年度: 90.0%) と大幅に数値が低下した。今年度、職員会議でのミニ研修やオンライン研修等を昨年度と比べて多く企画したが、積極的に参加できなかったと感じている教職員が多いことが要因と考えられる。今後は、参加人数を増やす方策の検討を行い相互研鑽の充実を図っていききたい。

全教職員の結果は、34項目中31項目で肯定的評価が80%を超えている。「部活動が活発に行われている」57.1% (昨年度: 48.9%) 「生徒会活動が活発に行われている」72.2% (昨年度: 73.9%) 「施設設備の整備」67.9% (昨年度: 55.3%) については、昨年度と比べて数値が上昇したが、引き続き対策を講じていく必要がある。

生徒の結果は、23項目中22項目で肯定的評価が80%を超えている。「毎日の予習や復習」については、73.0% (昨年度: 73.9%) と最も低い結果となったことから、各学年の特徴や状況を把握した上で指導の徹底を図る必要がある。今後は、個々の生徒に応じた、よりきめ細やかな指導の徹底と、生徒の満足度を高める取組の充実を図っていききたい。

保護者の結果は、全22項目で肯定的評価が80%を超え、「地域や伝統に根ざした特色ある学校づくり」については100%となっており、本校の様々な教育活動は高い評価を得ている。また、「いじめの早期発見」については、87.0% (昨年度: 76.1%) と昨年度から数値が上昇した。今後も、いじめの早期発見に努めていきたい。

外部学校関係者の結果は、全22項目で肯定的評価が80%を超えているが、昨年度から低下した項目もあるため、今後は、外部関係者をはじめ地域や中学校等への積極的な発信に努めるとともに、本校の特色や取組に関する情報発信の充実を図っていききたい。

自由記述では、本校の教育活動について概ね理解を頂いている一方で、例年同様に老朽化した施設設備に対する改善要望があることから、引き続き施設設備の整備に努めたい。また、地域や中学生及びその保護者等への情報発信の在り方についての意見等があるため、本校の取組に対する認知度やニーズ等を把握するための方策を検討するとともに、本校の特色や魅力を分かりやすく伝えるための方策を検討・実施していききたいと考える。